

KENWOOD

MP3/WMA対応 CDレシーバー

f-CD77

CDレシーバー

f-CD55

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用する
ことはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

使いこなし!
ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター (東京) 電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00~18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。



© B64-2175-00 (JV)

Help ? Operation
? MP3/WMA Help
? Word

Functional Operation

ソースセレクション

CD/MP3/WMA/Changer モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Function

リモートコントロール

EZ Operation

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDの取り扱い	10

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

CD/MP3/WMA、FM/AM放送、交通情報の聴きかた	12
------------------------------	----

リモコンでも操作できるゾ！

リモートコントロール

リモートコントロール	40
各モード共通	
電池の入れかた	
CD/MP3/WMA/Changer モード	
TUNERモード	
DNPS/SNPS	
SBF	

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

Help? Operation	46
Help? MP3/WMA	52
Help? Word	54

取り付け方法など

付録

取り付け時のご注意	60
接続	62
取り付け	64
保証とアフターサービス	66
仕様一覧	67

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセクション	14
ソース選択	
CD/MP3/WMA/Changer モード	15
トラック/ファイルサーチ	
ディスク/フォルダサーチ	
マニュアルサーチ	
ポーズ	
トラック/ファイル/ディスク/フォルダ リピートプレイ	
トラック/ファイルスキッププレイ	
ランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
テキストスクロール	
フォルダセレクト	
Tuner モード	20
バンド切り替え	
チューニング	
マニュアルメモリー	
オートメモリー	
プリセットチューニング	
Name Set	22
DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)	
AUXネームセレクト	
ディスプレイコントロール	24
パネル取り外し	
パネル取り付け	
ディスプレイタイプ選択	
Display Type A & B上部表示選択	
Display Type A & B下部表示選択	
Display Type C表示選択	
ALL OFF表示選択	
オーディオコントロール	28
オーディオコントロール	
ノンフェーダー出力設定	
dBイコライザー	
DSPモード選択	
Function	32
ファンクションセット	
セキュリティコード	
時計調整	
日付設定	
文字色設定	

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその
他の国における商標です。

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

すぐに使いたかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。


Help

- ? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? MP3/WMA f-CD77でプレイできるMP3/WMAファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。
- ? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。


これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [リモートコントロール]、本機の取り付け方法などを説明した [付録] があります。


● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。


本文でのマークについて

 **共通の操作**
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。

 **CD/MP3/WMAの操作**
CD/MP3/WMAをプレイする操作を表しています。

 **チューナーの操作**
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

 **注意**
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

 **メモ**
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。



1秒以上押す
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押し秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

ソース選択
プレイするソースを切り替えます。

A SRC
押すたびに次の順で切り替わり

2 設定する

C

3 値を選択

A

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

内容の説明

表示される文字または内容

1 ファンクションモードにします

B 1秒 Function
“Function”と表示されるまで押し続けま

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

- ソースセレクション
- CD/MP3/WMA/Changer モード
- TUNER モード
- Name Set
- ディスプレイコントロール
- オーディオコントロール
- Function
- リモートコントロール

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

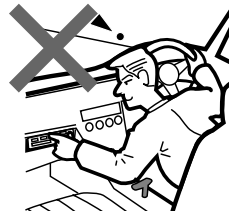
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

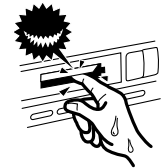
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続するCDプレーヤー/ディスクチェンジャーについて

本機には、“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製CDプレーヤー/ディスクチェンジャーが接続できます。また、“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。

“O-Nスイッチ”の付いていないケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明は「接続」(62ページ)およびKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

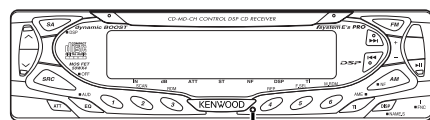
セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp (p.46)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

温度について

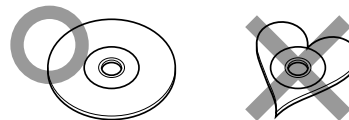
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面(レーベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

DISC MARKの付いていないCDは使用しないでください。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。(ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください) このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷したCD-R/CD-RWを長時間再生または放置すると、レーベル面が本機内部に貼り付いてイジェクトできないことがあります。本機の故障の原因となるため、レーベル面に印刷をしたCD-R/CD-RWは使用しないでください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたとき交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

レンズクリーナーについて

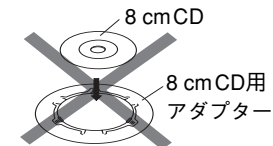
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。



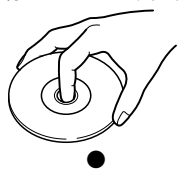
8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



CDの取り扱い

CDの取り扱いについて

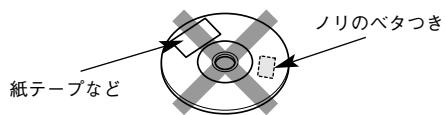
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



●
CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメ
ディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ
などにも書かれています。それらの注意事項も読
んでから使用してください。

●
記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テー
プなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど
のノリがはみ出したり、はがした痕があるものは
お使いにならないでください。そのままCDプレー
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障
することがあります。



CDの保存

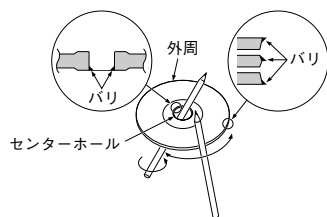
直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時
間放置すると使用できなくなる場合があります。

●
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し
て、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保
存しないでください。

新しいCDを使うときは

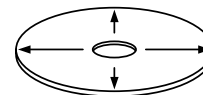
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや
外周部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できな
かったり音飛びの原因になります。"バリ"がある
ときは、ボールペンなどで取り除いてから使用し
てください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや
柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かっ
て軽くふき取ってください。

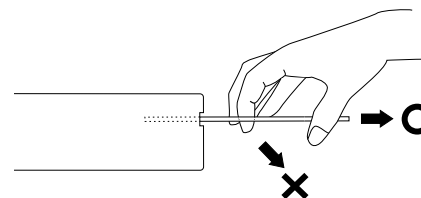
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シン
ナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないで
ください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出し
てください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷
を付ける原因となります。



CD/MP3/WMAのプレイは簡単！ CD/メディアを差し込むだけです。

電源をオン/オフします。
 押すと電源がオンになります。
 1秒以上押すと、電源がオフになります。

CD (MP3/WMA) のプレイとFM/AM放送を切り替えます。
 ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、CD (MP3/WMA)、ALL OFFに切り替わります。

プレイする曲を選びます。
 受信状態の良い放送局を自動的に受信します。チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(32ページ)

交通情報の周波数 (1620KHz/1629KHz/ 522KHz) を切り替えます。

CD/MP3/WMAをプレイするには…
 ▲を押して操作パネルを開き、プレイするCD/メディアを差し込みます。差し込んだCD/メディアがプレイされます。

CD/メディアを取り出すには…
 イジェクトボタンを押します。

- MP3/WMAがプレイできるのはf-CD77のみです。プレイできるメディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「Help? MP3/WMA」(52ページ)に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。
- ディスクを手で押して、完全に引き込まれてから操作パネルを閉じてください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。
- CDが入っているときは、INインジケータが点灯します。
- 操作パネルが開いているときは、FM/AM放送は聴けません。

音量を上げます。

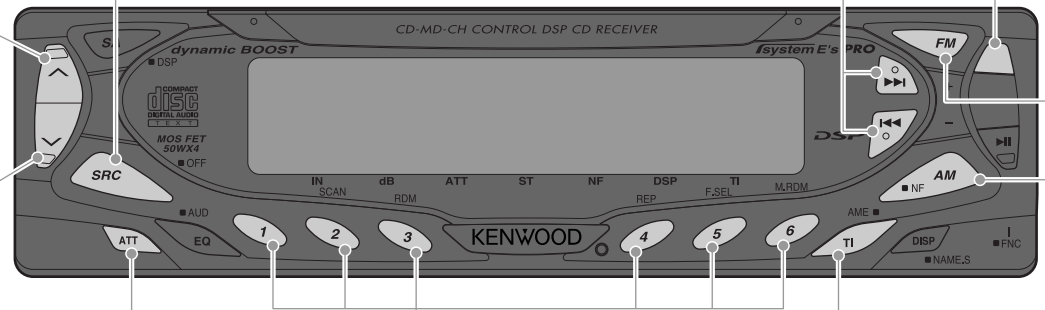
音量を下げます。

音量をすばやく小さくします。
 もう一度押すと元の音量に戻ります。

メモリーされている放送局を選びます。
 2秒以上押すと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。

注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



FM放送のバンド (FM1/FM2) に切り替えます。

次のMP3/WMAフォルダを選びます。

AM放送のバンド (AM1/AM2) に切り替えます。

前のMP3/WMAフォルダを選びます。

交通情報を受信します。
 もう一度押すと元に戻ります。
 交通情報を受信中はTIインジケータが点灯します。

- 交通情報を受信中に音量を調節すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調節した音量になります。

ソースセレクション

CD/MP3/WMA/Changer モード

TUNER モード

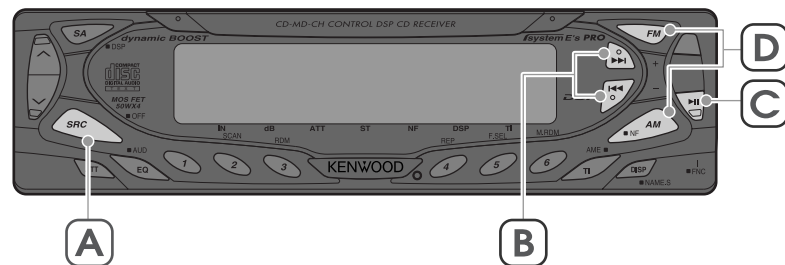
Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Function

リモートコントロール



プレイするソースを選びます。
また、CDやMP3、WMA、別売品のディスクチェンジャー、CDプレーヤーでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCDの聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

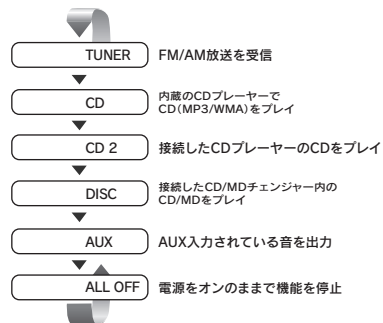


押すたびに次の順で切り替わります。



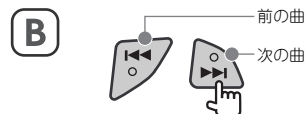
- AUXソースには「ファンクションセット」(32ページ)の“AUX”項目が“ON”に設定されているときに切り替わります。
- AUXソースの表示は、初期状態では“AUX”と表示されますが、「AUXネームセレクト」(23ページ)で変更ができます。
- MP3/WMAのメディアが挿入されているときは、CDモードを選択することにより、MP3/WMAファイルのプレイができます。(MP3/WMAファイルがプレイできるのはf-CD77のみです)

別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。

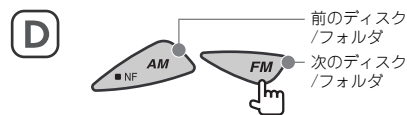


トラック/ファイルサーチ

プレイする曲を選びます。



ディスク/フォルダサーチ
(MP3/WMAメディア、ディスクチェンジャーのみ)
プレイするディスクやフォルダを選びます。



マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

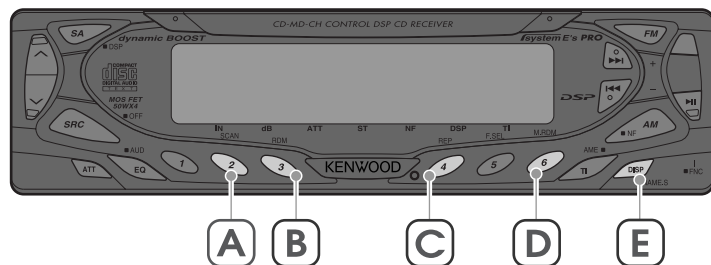
● MP3/WMAファイルをプレイ時は、マニュアルサーチ中に音は出ません。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します



もう一度押すとプレイを再開します。

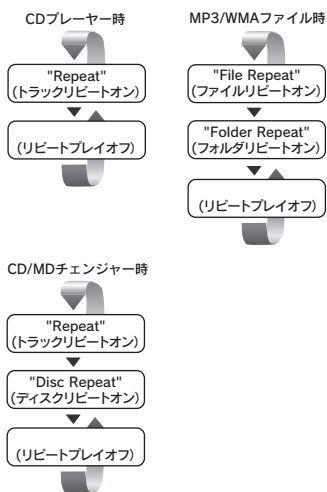


トラック/ディスク/ ファイル/フォルダリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク/フォルダを繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。



トラック/ファイルスキャンプレイ

ディスクやフォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラック/ファイルスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

- すべての曲がスキャンプレイされると、トラック/ファイルスキャンプレイは自動的に終了します。

ランダムプレイ

現在のディスクやフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

- ! トラック/ファイルスキャンプレイのアイコンを押すと、次の曲をランダムに選択します。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

- ! トラック/ファイルスキャンプレイのアイコンを押すと、次の曲をランダムに選択します。

テキストスクロール

ディスプレイ上段のテキスト表示をスクロール設定が「Manual」のときにスクロールさせます。

1 テキスト表示にします

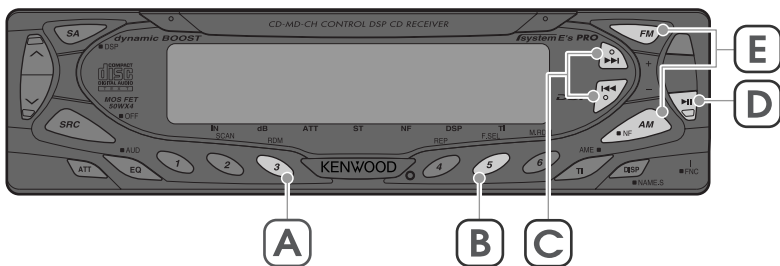
ディスプレイタイプ選択 (24ページ) および Display Type A&B上部表示選択 (25ページ) を参照してテキスト表示にします。

2 スクロールします



1秒以上押すと、表示中のテキストが1回スクロールします。

- ! スクロール設定を「Auto」にしているときに上記の操作を行うと、タイトルが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール選択の方法は、「ファンクションセット」(32ページ)を参照してください。
- スクロールが可能なテキスト表示については、「Help?Word」の「Scroll」(56ページ)を参照してください。



フォルダセレクト (MP3/WMAメディアのみ)

聴きたいMP3/WMAの曲が入っているフォルダをすばやく選択します。

1 フォルダセレクトモードにします



ディスプレイに以下の表示がされます。

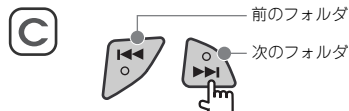
フォルダネーム表示
フォルダネームを表示します。

Folder name
Select Mode F01

フォルダナンバー表示
現在選択されているフォルダが
属するフォルダ内での番号を
表示します。

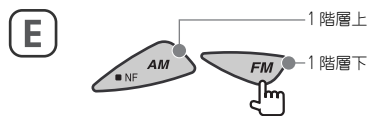
2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します



押すたびに、同階層内で次のフォルダ/前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります (Root Jump)



現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3/WMA」(52ページ)を参照してください。

3 聴きたい曲が入っているフォルダで...

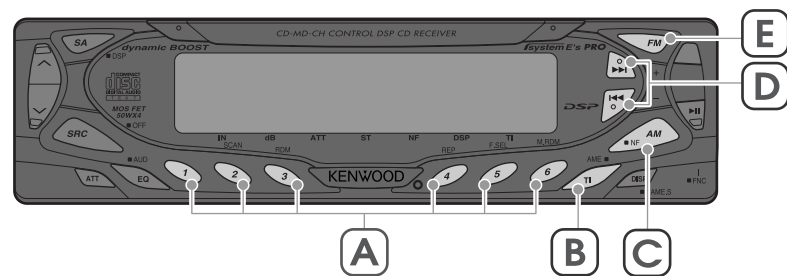


フォルダ選択モードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3/WMAファイルがプレイされます。

フォルダ選択モードを終了して、選択したフォルダにMP3/WMAファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

フォルダセレクトを中止するときは...





FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが“Auto1”のとき
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが“Auto2”のとき
メモリーされている放送局を番号順に受信します。

チューニングモードが“Manual”のとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「ファンクションセット」（32ページ）の“Seek Mode”項目で選択できません。
- 「ディスプレイタイプ選択」（24ページ）で“Display Type A”を選んでいるときに、FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯しません。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



FM1 3ch 82.5

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 オートメモリーします



周波数表示が次々に変わるまで押し続けます。
● 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

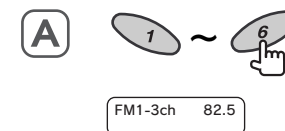
プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

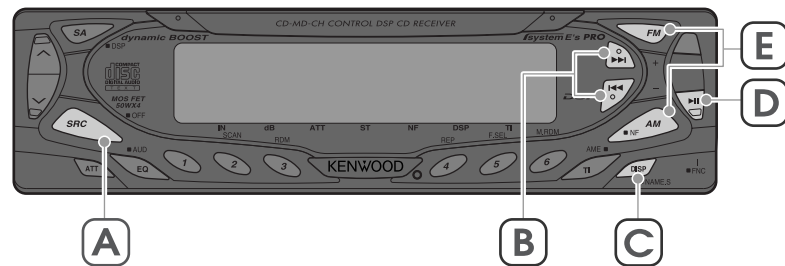
1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。



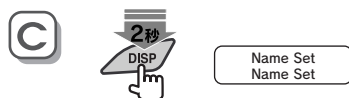
FM/AM放送局や本機内蔵CDプレーヤーと別売品のCDチェンジャー/CDプレーヤーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

DNPS (ディスク名前プリセット) / SNPS (ステーション名前プリセット) CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

- ディスプレイの上部に、ディスク/トラックテキスト、フォルダ名前、曲名、アルバム名またはアーティスト名を表示中はDNPSは行えません。
- MDにDNPSを行うことはできません。
- 交通情報モード中に受信している放送局や、本機内蔵のCDプレーヤーでプレイ中のMP3/WMAディスクにも同様の操作で名前を付けることができます。

2 DNPS/SNPSを開始します



“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

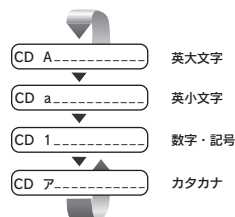
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



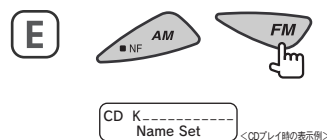
4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前はDNPSで12文字まで、SNPSで8文字まで登録できます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外したり、リセットボタンを押すとDNPS/SNPSは消去されます。

- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局が32局、AM放送局が16局です。
- 本機にDNPSで登録できるCDは30枚です。また、接続しているCDプレーヤーまたはCDチェンジャーにDNPSできる枚数は機種により異なります。詳しくは、CDチェンジャーまたはCDプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 登録したディスクの名前を選択して、ディスクをプレイすることもできます。詳しくは「SBF」(44ページ)をご覧ください。

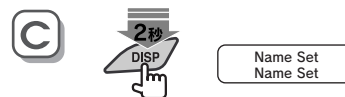
AUXネームセレクト

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします



2 ネームセットモードに入ります

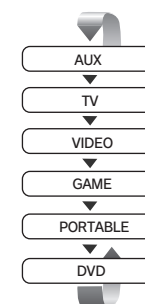


“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



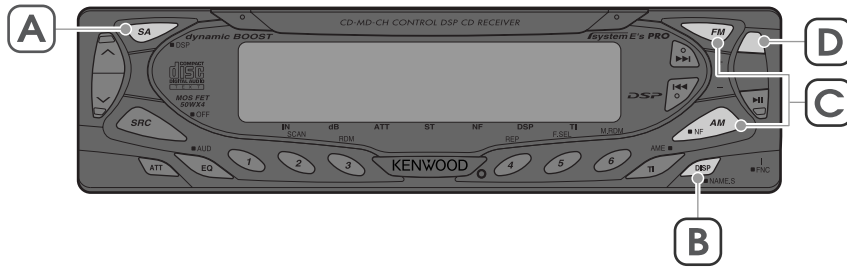
押すたびに次の順で切り替わります。



4 ネームセットモードを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が選択されます。



ディスプレイの表示タイプや表示する情報の設定をします。
また、盗難防止のためのパネルの取り外しもできます。

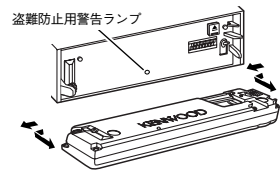
パネル取り外し

操作パネルを取り外します。

1 操作パネルを開けます



2 操作パネルを取り外します

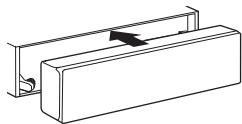


パネルを左側に押しながら手前に引きます。

- 電源がオンの時にパネルを取り外すと電源がオフになります。
- 「ファンクションセット」(32ページ)の“DSI”項目が“ON”になっていると、盗難防止用警告ランプが点滅します。

パネル取り付け

操作パネルを取り付けします。



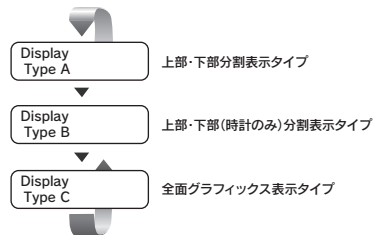
パネルを本体に合わせてロックするまで押します。

ディスプレイタイプ選択

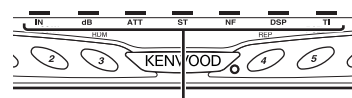
ディスプレイの表示タイプを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



- 上部、下部、およびグラフィックの切り替えかたは、Display Type A & B上部表示選択 (25ページ)、Display Type A & B下部表示選択 (26ページ)、Display Type C表示選択 (27ページ)をご覧ください。
- ALL OFFモード中は、Display Type Cの選択はできません。
- “Display Type A”を選択時は、各ファンクションインジケータ (文字表示上のバー「—」表示) が点灯し、システムの状態が分かります。



ファンクションインジケータ

ただし、INインジケータのみ“Display Type B”を選択時も表示されます。

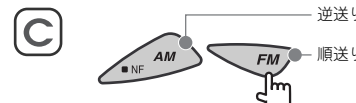
Display Type A & B上部表示選択

ディスプレイタイプが上部・下部分割表示タイプ時の上部表示を切り替えます。

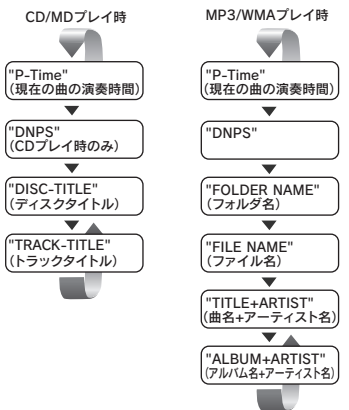
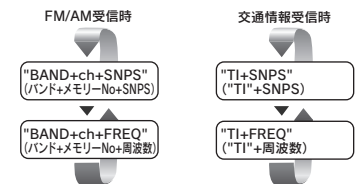
1 ディスプレイ表示切替モードにします



2 表示を選びます



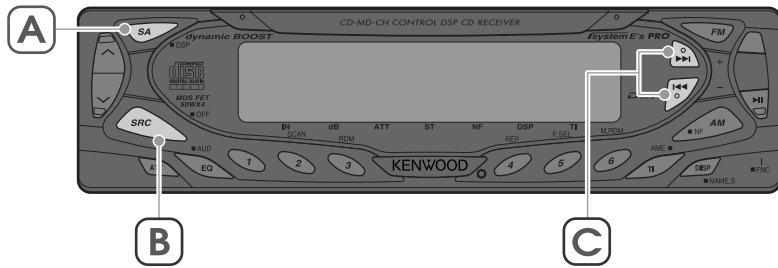
押すたびに次の順で切り替わります。



- 下部に表示されている情報と同じ情報は選択できません。
- AUXソース時は「AUXネームセレクト」(23ページ)で設定された名前が表示され、切り替えはできません。
- WMAファイルをプレイ中は、アルバム名の表示はできません。

3 ディスプレイ表示切替モードを終了します





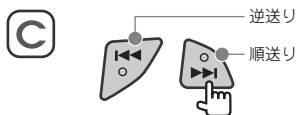
Display Type A & B下部表示選択

ディスプレイタイプが上部・下部分割表示タイプ時の下部表示を切り替えます。

1 ディスプレイ表示切替モードにします



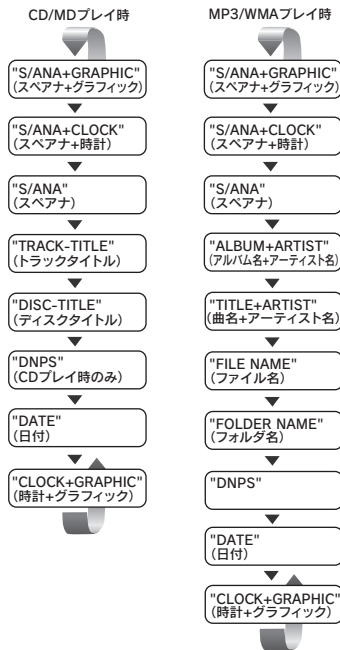
2 表示を選びます



"Display Type B"に設定時は、押すたびに時計表示がオン/オフします。

"Display Type A"に設定時は、押すたびに次の順で切り替わります。

FM/AM受信/AUXソース/交通情報受信時



- 上部に表示されている情報と同じ情報は選択できません。
- WMAファイルをプレイ中は、アルバム名の表示はできません。

3 ディスプレイ表示切替モードを終了します



Display Type C 表示選択

ディスプレイタイプが全面グラフィック表示タイプ時の表示を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



ALL OFF表示選択

ALL OFFモード中のディスプレイ表示を切り替えます。

1 ALL OFFモードにします

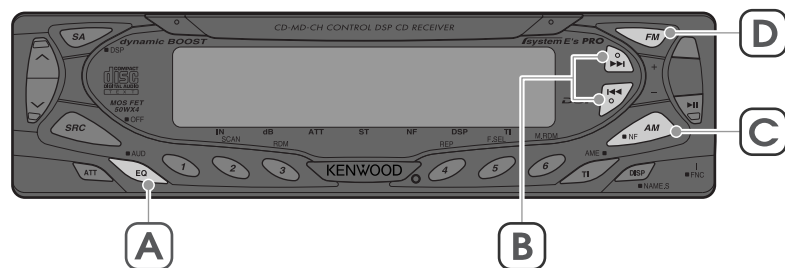


2 表示を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



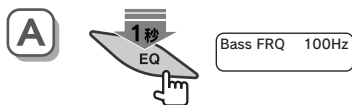


音量バランスの調節やサブウーファー追加時のクロスオーバーネットワークの設定などをします。
また、ジャンル別にメモリーされているオーディオ設定やDSP設定を呼び出します。

オーディオコントロール

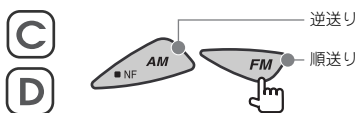
音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



オーディオコントロールの項目が表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Bass FRQ* (低音中心周波数)	60/70/80/ 100または150(Hz)
Bass (低音)	-8~+8
Bass Q* (低音クオリティファクター)	1.00/1.25/1.50/2.00
Bass EXT* (低音中心周波数伸張)	ON/OFF
MID FRQ* (中低音中心周波数)	500/1k/1.5k/2.0k(Hz)
MID (中低音)	-8~+8
Middle Q* (中低音クオリティファクター)	1.0/2.0
TRE FRQ* (高音中心周波数)	10k/12.5k/15k/17.5k (Hz)
TRE (高音の音量レベル)	-8~+8
Balance (左右の音量レベル)	L15~R15
Fader (前後の音量レベル差)	R15~F15
NF Level (ノンフェーダープリアウト出力レベル)	-15~+15
HPF Front* (フロント低音カット)	Thru/40/60/80/100 120/150/180/220 (Hz)
HPF Rear* (リア低音カット)	Thru/40/60/80/100 120/150/180/220 (Hz)
LPF NF* (ノンフェーダー高音カット)	50/80/120/Thru (Hz)
NF Phase (ノンフェーダー出力位相)	Normal (正相) / Reverse (逆相)
Volume Offset* (ソース間のレベル差)	-8~±0

ノンフェーダー出力設定

ノンフェーダー出力のオン/オフを切り替えます。



1秒以上押すたびに、ノンフェーダー出力がオン/オフします。
「ディスプレイタイプ選択」(24ページ)で「Display Type A」を選んでいるときに、オンするとNFインジケータが点灯します。

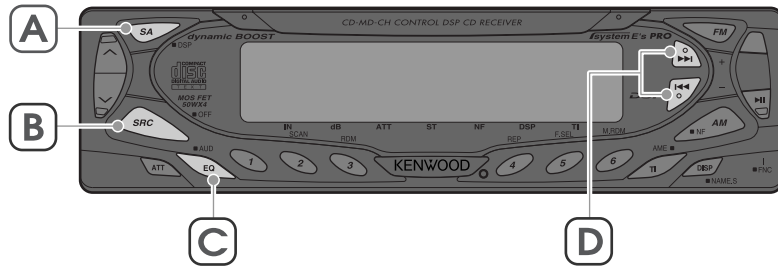
● ノンフェーダー出力設定は「ファンクションセット」(32ページ)の「SWPRE」項目が「N-Fad」に設定されているときに可能です。

- “Bass”、“MID”、および“TRE”はFM放送、AM放送、CD、DISC、AUXの各ソースごとに設定できます。
- *マークが付いた項目の詳細機能については、「Help?Word」(P.54)をご覧ください。
- “NF Level”、“LPF NF”、および“NF Phase”は「ファンクションセット」(32ページ)の“SWPRE”項目が“N-Fad”に設定されているときに設定できます。
- Bass FRQ (低音中心周波数)の設定可能な周波数は、Bass Q (低音クオリティファクター)の設定値により以下のように変わります。

Bass Q 設定値	Bass FRQ設定可能値
1.00/1.25/1.50	60/70/80/100(Hz)
2.00	60/70/80/150(Hz)

4 オーディオコントロールを終了します





dBイコライザー

ジャンル別に設定された音質を呼び出して、その効果の強弱を設定します。

1 設定するソースにします



2 dBイコライザーモードにします



3 dBイコライザーを選択します



押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。

- “User Preset” は「オーディオコントロール」(28ページ) で設定した音質を呼び出します。
- それぞれの音質の特徴については「Help ?Word」(P.55)をご覧ください。



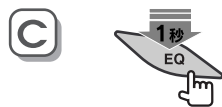
4 効果の強弱を選択します



押すたびに、“HIGH” と “LOW” とに切り替わります。

- “FLAT” または “User Preset” を選択中は切り替えられません。

5 dBイコライザー選択モードを終了します

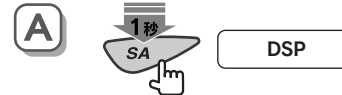


1 秒以上押します。
または、10秒以上なにも操作しないでおきます。

DSPモード選択

疑似音場効果を設定します。

1 DSP選択モードにします



“DSP” と表示されるまで押し続けます。

2 DSPの項目を選択します



押すたびに次の順で切り替わります。
「ディスプレイタイプ選択」(24ページ) で “Display Type A” を選んでいるときに、“BYPASS” 以外に設定するとDSPインジケータが点灯します。

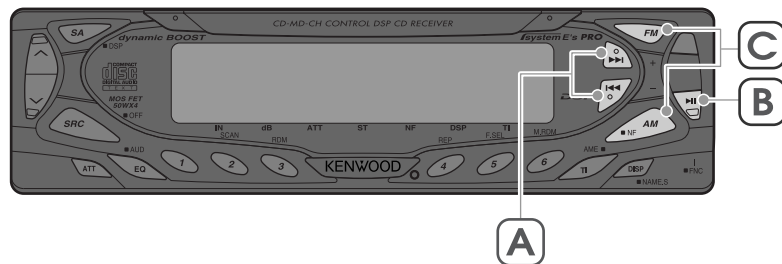


3 DSP選択モードを終了します



または、10秒以上なにも操作しないでおきます。

- オーディオコントロール項目の “Balance” および “Fader” を中央以外に設定すると、正しいDSP効果が得られません。“BYPASS” 以外に設定したときは、“Balance” および “Fader” を中央位置で使用してください。(28ページ)
- 交通情報モード中は、DSP項目の選択はできません。



本機のいろいろな機能を設定します。

ファンクションセット

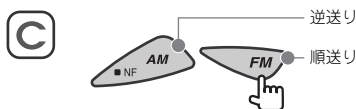
操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 ファンクションモードにします



“Function” と表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。
「ディスプレイタイプ選択」(24ページ)で“Display Type A”を選んでいるときに、“SWPRE”項目を“N-Fad”に設定するとNFインジケーターが点灯し、“DB PRO”を“ON”設定するとdBインジケーターが点灯します。

すべてのモード中

設定項目	設定値
Beep* (ビープ音)	ON/OFF
Clock Adjust (時計調整)	調整の方法は36ページをご覧ください。
Date Adjust (日付設定)	設定の方法は37ページをご覧ください。
DSI* (盗難防止用警告ランプ設定)	ON/OFF
Font Col Select* (表示文字の色設定)	設定の方法は38ページをご覧ください。
Dimmer* (車両ライトがオン時の減光設定)	ON/OFF
DB PRO* (オーディオコントロールのFRQやQ、EXT項目の表示設定)	ON/OFF
SWPRE* (リアアウト出力選択)	Rear/N-Fad
AMP Bass* (外部アンプ低音出力コントロール)	Flat/+ 6 /+12 /+18
AMP Freq* (外部アンプ低音周波数コントロール)	Normal/Low
Scroll* (テキスト表示のスクロール設定)	Auto/Manual
AUX* (AUXソースの切り替え設定)	ON/OFF

(太字：初期設定値)

TUNERモード中のみ

設定項目	設定値
Seek Mode* (チューニングモード設定)	Auto1/Auto2 /Manual
MONO* (モノラル受信設定)	ON/OFF

(太字：初期設定値)

ALL OFFモード中のみ

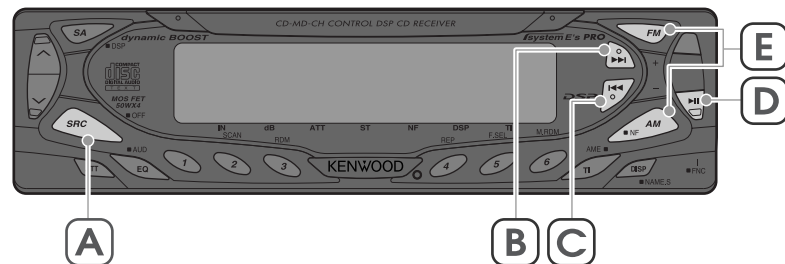
設定項目	設定値
Security* (セキュリティーコードの登録設定)	設定の方法は34ページをご覧ください。
AMP Mute* (内蔵アンプの出力停止設定)	ON/OFF
Navi Mute* (ナビ音声ガイド時のミュート設定)	OFF/All/F-Right /F-Left/F-All

(太字：初期設定値)

- *マークが付いた項目の詳細な機能については、「Help?Word」(P.54)をご覧ください。
- “AMP Bass”と“AMP Freq”で本機からコントロール可能なアンプの機種についてはカタログをご覧ください。

4 ファンクションモードを終了します





セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

❗ 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

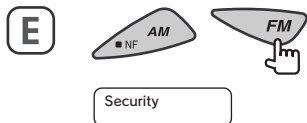


2 ファンクションモードにします

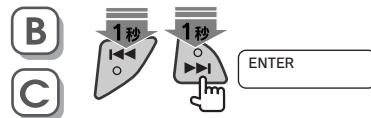


“Function”と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します

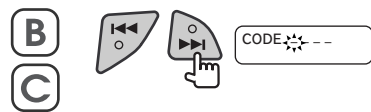


4 セキュリティコード入力を開始します

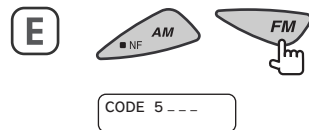


または [ENTER] を “ENTER” と表示されるまで押し続けます。

5 数字を入力する位置にカーソルを移動します



6 数字を選択します



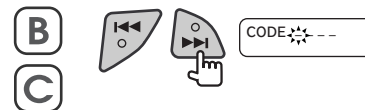
7 5~6を繰り返して、4つの数字を入力します

8 セキュリティコードを登録します



“RE-ENTER”と表示されるまで押し続けます。

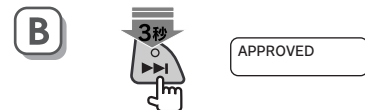
9 セキュリティコードを再入力します



確認のためセキュリティコードを手順5~7の方法で再度入力します。

1回目と違うコードを入力すると、1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

10 セキュリティコードを確認登録します



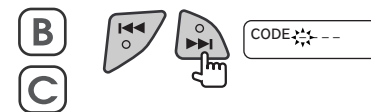
“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。

セキュリティコードの登録が完了し、この機能がオンになります。

セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します



セキュリティコードを手順5~7の方法で入力します。

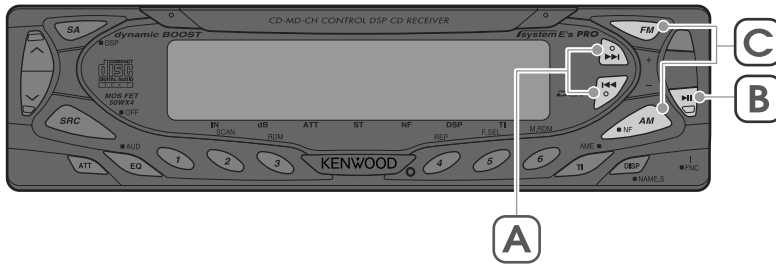
2 セキュリティコードを確認します



“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。

本機が使用可能となります。

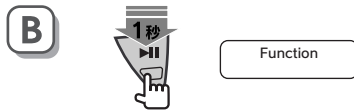
❗ セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、[POWER] を押して電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。



時計調整

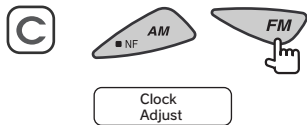
時刻を合わせます。

1 ファンクションモードにします



“Function” と表示されるまで押し続けます。

2 時計調整項目を選択します



3 時刻合わせを開始します



または を時計が表示するまで押し続けます。

4 時刻を合わせます

“時” を合わせる



“分” を合わせる



5 時刻合わせを終了します

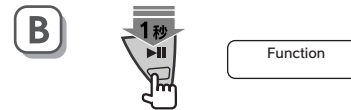


分を調整した時は、“00” 秒からカウントがスタートします。ファンクションモードを終了するときは、もう一度押します。

日付設定

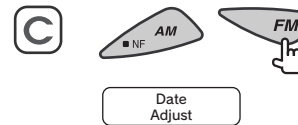
日付を設定します。

1 ファンクションセットモードにします



“Function” と表示されるまで押し続けます。

2 日付設定項目を選択します



3 日付の設定を開始します



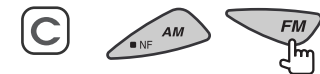
または を日付が表示するまで押し続けます。

4 設定する項目を選択します



押すたびに、設定できる項目（年、月、日）が切り替わります。点滅中の項目が、設定可能な項目です。

5 日付を調整します



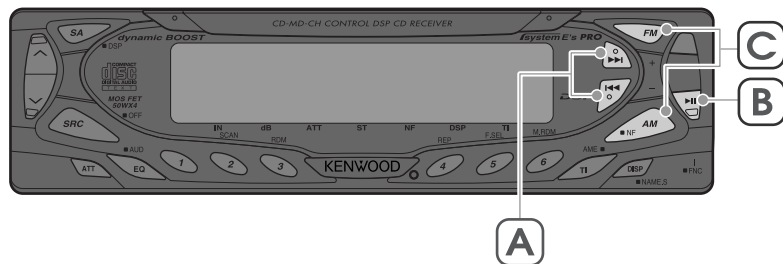
年表示は西暦の下2桁を表しています。

6 4～5を繰り返して日付調整をします

7 日付設定を終了します



ファンクションモードを終了するときは、もう一度押します。



文字色設定

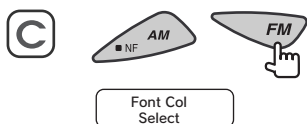
文字の表示色を設定します。

1 ファンクションモードにします



“Function” と表示されるまで押し続けます。

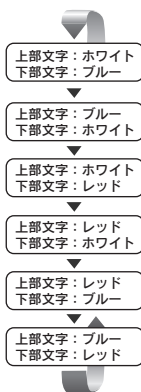
2 文字色項目を選択します



3 文字色を選択します



押すたびに次の順で切り替わります。

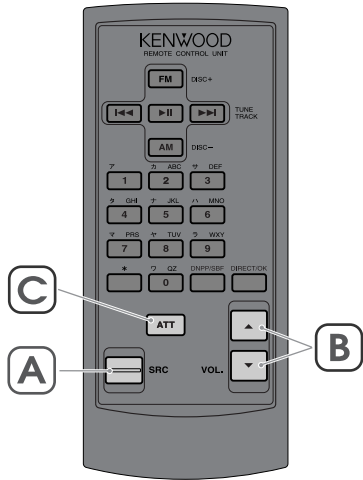


4 文字色設定を終了します



ファンクションモードを終了するときは、もう一度押します。

各モード共通



ソース切り替え

A プレイするソースを切り替えます。

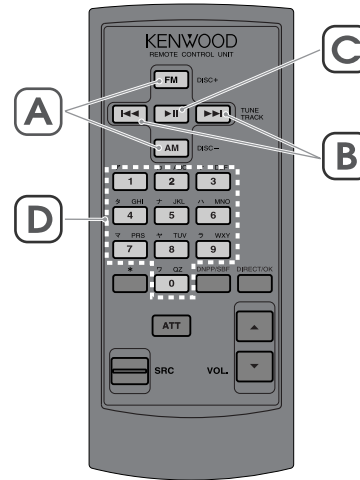
音量調節

B 音量を調節します。

アッテネーター

C ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

CD/MP3/WMA/Changer モード



ディスクサーチ(ディスクチェンジャーのみ)/フォルダサーチ

A プレイするディスク/フォルダを選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ/ファイルサーチ

B プレイする曲/ファイルを選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

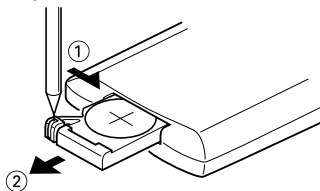
C プレイを一時停止します。もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

D テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。MP3/WMAファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。

電池の入れかた

ペン先などで①の方向にロックを外しながら②の方向へ電池ボックスを引き出します。付属のリチウム電池 (CR2025) を電池ボックスの表示にしたがって⊕と⊖を間違えないように入れてください。



● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、リチウム電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、新しいリチウム電池と交換してください。

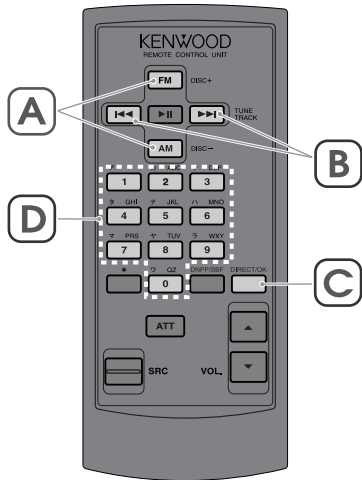


注意

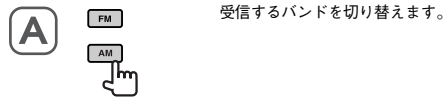
- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてはいけません。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

リモートコントロール

TUNER モード



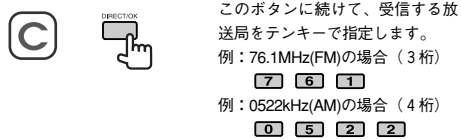
バンド切り替え



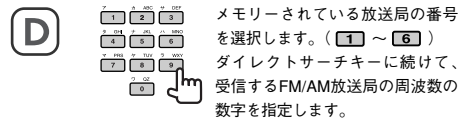
選局



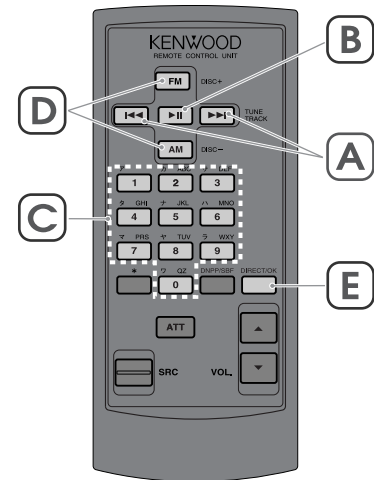
ダイレクトサーチ



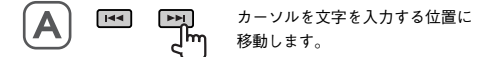
テンキー



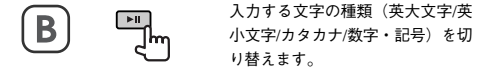
DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)



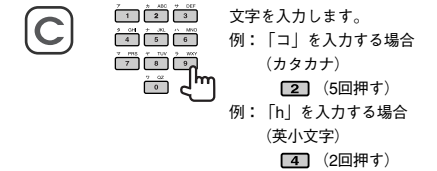
カーソル



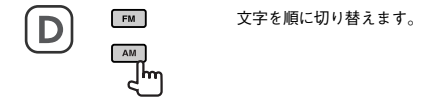
文字種切り替え



テンキー



文字選択



終了

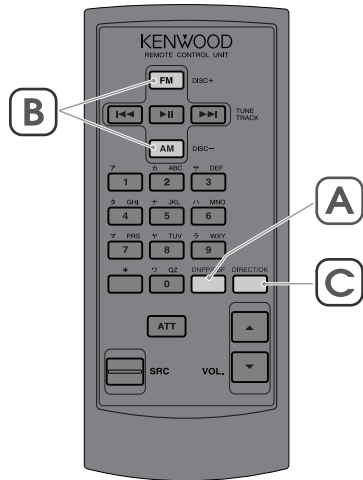


● SNPS/DNPSを開始するには、本体の **DNPS** を2秒以上押します。
詳しい操作方法は22ページを参照してください。

リモートコントロール

● SBF (セレクトバイファイルプレイ)

別売品のCDチェンジャーにセットされているCDの中から、DNPSで付けたディスク名を表示させて探す機能です。
(SBFはリモコンでだけで使用できる機能です)



1 SBFを開始します

A



“DNPP” と表示されてSBFモードになります。
ディスク名が5秒間ずつ表示されます。

聴きたいディスクの表示順を変えます

B



ディスク名を順送り/逆送りします。

2 ディスクを選びます

C



表示中のディスクをプレイします。

SBFを中止します

A



電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(62ページ)を参照して正しく接続し直してください。

音が出ない/音が小さい

- フェーダー、バランスが片方に寄っている。 フェーダーやバランスを正しく調整してください。(28ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

- 内蔵のマイコンが誤動作している。 リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(62ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

オーディオコントロールのノンフェーダー項目が表示されない

- ファンクションセットの“SWPRE”項目が“Rear”に設定されている。 ファンクションセットの“SWPRE”項目を“N-Fad”に設定します。(32ページ)

オーディオコントロールで表示されない項目がある

- ファンクションセットの“DB PRO”項目が“OFF”に設定されている。 ファンクションセットの“DB PRO”項目を“ON”に設定してください。(32ページ)

DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェーダーまたはバランスの調整が片寄っている。
- 「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。
- フェーダーやバランスを正しく調整してください。(28ページ)

CD/Changer mode

ディスクが入らない

- すでにディスクが入っている。 入っているディスクを取り出してから入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。
- 30°以下になるように取り付けなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。
- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。(8ページ)

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

- ランダムプレイがオンになっている。 ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

- トラックリピートがオンになっている。 トラックリピートをオフにしてください。(16ページ)

曲の先頭しかプレイされない

- トラックスキップがオンになっている。 トラックスキップをオフにしてください。(16ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

- ディスクリピートプレイがオンになっている。 ディスクリピートプレイをオフにしてください。(16ページ)

MD-CH/CD/External Disc mode

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

文字がスクロールされない

- 情報文字数が12文字以下のため。
- ディスクネームを表示しているため。

- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。
- スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名、アルバム名およびアーティスト名です。

ダイレクトディスクサーチができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

トラック/ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へトラック/ファイルサーチしようとしている。

ディスク/フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはトラック/ファイルサーチできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーに“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

- “O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

MP3/WMA (f-CD77のみ)

MP3/WMAディスク、MP3/WMAファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- MP3/WMAファイルに拡張子が付いてない。
- ディスクに傷や汚れがある。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (52ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- MP3ファイルには“.MP3”を付けて、WMAファイルには“.WMA”を付けてください。
- 「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMAファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMAディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3/WMAファイル以外に“.MP3”または“.WMA”拡張子が付いている。

MP3/WMAファイル以外に付いている“.MP3”または“.WMA”拡張子を消去してください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。

- ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo (52ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA (f-CD77のみ)

MP3/WMAディスクをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。

最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3/WMAファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などを入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

ID3 Tag/WMA Tag情報が正しく表示されない

● ID3 tagがv1.xに準拠して記録されていない。
● 漢字やひらがなを使用して記録した。

● ID3 tagをv1.xに準拠して記録してください。
● 本機は漢字やひらがなの情報は表示されません。

CD-RWに記録したMP3/WMAファイルがプレイされない

CD-RWの消去を簡易フォーマットで行ったため。

CD-RWを消去するときは、フルフォーマットで行ってください。

Function

セキュリティコード項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

Name Set/SBF

DNPSができない

● MDをプレイしている。
● マガジンランダムがオンになっている。

● MDにDNPSはできません。
● マガジンランダムをオフにしてください。

登録したはずのステーションネームが消えた

● FM放送で33局目、AM放送で17局目のステーションネームを登録した。
● 車両のバッテリーを交換などしたため。
● 本機のリセットボタンを押したため。

● 登録できるステーションネームはFM放送で32局、AM放送で16局分です。
● 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。
● 本機のリセットボタンを押すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

● 登録できる枚数以上のディスクネームを登録した。
● 本機のリセットボタンを押したため。

● DNPSで登録できるCDは本機では30枚、接続されたCDチェンジャーやCDプレーヤーの枚数は機種により異なります。詳しくは、CDチェンジャー付属の取扱説明書をご覧ください。
● 本機のリセットボタンを押すとディスクネームは消去されます。

ディスクネームがまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

SBFで名前が表示されない

● ディスクネームが登録されていない。
● プレーヤーやマガジンに入っているCDを一度もプレイしていない。

● ディスクネームを登録してください。
● すべてのCDをプレイしてください。

f-CD77はMP3/WMAファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

使用できるメディア

使用できるMP3/WMAが収録されているメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1、MPEG 2、MPEG 2.5 Audio Layer 3規格のもので、

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのもので、

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数: 44.1 kHz, 48 kHz
- ビットレート: 64 kbps~192 kbps

また、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1: 12文字
- ISO 9660 Level 2: 31文字
- Joliet: 64文字
- Romeo: 128文字

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、200文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層: 8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数: 255
- 最大フォルダ数: 50
- 最大フォルダ名: 64文字

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

ライティングソフトの設定

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字または半角カナ文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。ライティングソフトによっても正常に表示できない場合があります。

また、MP3/WMAファイルと認識されてプレイされるファイルは、“.MP3”または“.WMA”の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けて保存してください。



MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けないようにしてください。

ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。

WMA Tagで表示できるのは、曲名およびアーティスト名の30文字までです。

また、ID3 Tag、WMA Tagともに表示できる文字種は英数字、半角カタカナです。漢字、ひらがな、および全角カタカナは正しく表示されません。

メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。また、次のMP3/WMAファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

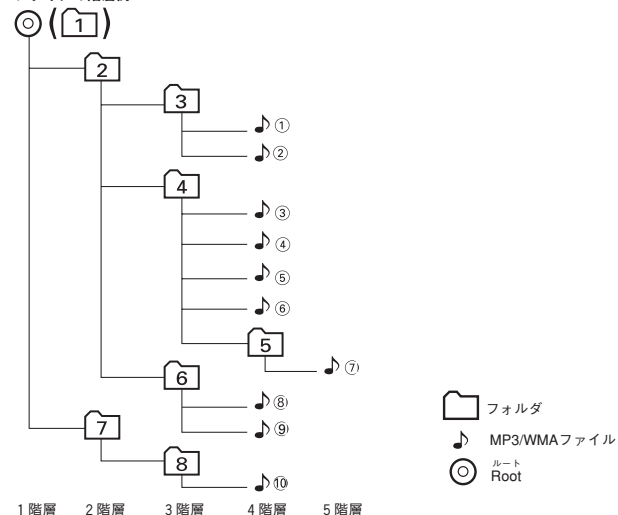
MP3/WMAファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例



再生中にファイルサーチを行うと・・・

押すボタン		
現在のファイルNo.	4	5

再生中にフォルダサーチを行うと・・・

押すボタン		
現在のファイルNo.	4	5

再生中にフォルダセレクトを行うと・・・

押すボタン				
現在のファイルNo.	4	3	6	2

AMP Bass

(アンプバスコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

AMP Freq

(アンプフリケンシイ)

「AMP Bass」で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。

“Low”に設定すると、周波数が20%低くなります。

AMP Mute

(アンプミュート)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“ON”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

AUX

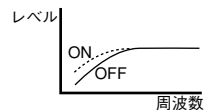
(エーユーエックス)

ソース選択時にAUXソースも含めて切り替えるか設定ができます。AUX入力を使用していないときは、“OFF”に設定しておけば、AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

Bass EXT

(バスエクステンデッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。



Bass FRQ/MID FRQ/TRE FRQ

(バスフリケンシイ/ミドルフリケンシイ/トレブルフリケンシイ)

低音、中音、高音を調節する周波数(中心周波数)を、この機能を使って設定することができます。

Bass Q/Middle Q

(バスクオリティーファクタ/ミドルクオリティーファクタ)

低音と中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



Beep

(ビーブ)

SRCボタンを押したときや、ボタンを1秒以上または2秒以上押したとき、押されたことを確認できるように“ビッ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、Beep音はプリアウトからは出力されません。

DB PRO

(ダイナミックブーストプロ)

オーディオコントロール時に“Bass FRQ”、“Bass Q”、“Bass EXT”、“MID FRQ”、“Middle Q”、“TRE FRQ”項目も含めて調整するか設定ができます。詳細な設定をしないときは、“OFF”に設定しておけば、これらの項目に切り替わらないので、スムーズな項目の切り替えができます。

dBイコライザー

(ダイナミックブーストイコライザー)

ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。

ROCK: スピーディーで力強いアタック音を再現します。

VOCAL: 生き生きとしたボーカルを主体に再現します。

EASY: 中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。

DANCE: ビートの利いた音を再現します。

JAZZ: ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。

Dimmer

(ディマー)

この機能を“ON”に設定しておく、車両のライトスイッチをオンにしたときに、自動的に本機のディスプレイを暗くすることができます。

DSI

(ディスプレイシステムインジケーター)

この機能をオンにしておくと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

DSP

(デジタルシグナルプロセッサー)

音楽信号をデジタル処理することにより、反射音や残響音などの音響効果を作り出し、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作る機能です。

HPF Front/HPF Rear

(ハイパスフィルターフロント/ハイパスフィルターリア)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“Throu”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF NF

(ローパスフィルター)

ノンフェーダー出力から高音を削除することができます。ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Throu”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

MP3

(エムピイスリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」(52ページ)をご覧ください。

Navi Mute

(ナビミュート)

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続すると、カーナビゲーションの音声案内時に、一時的にオーディオの音を小さくすることができます。さらに、音を小さくスピーカーは“**All**”(全体)、“**F-Right**”(フロント右側)、“**F-Left**”(フロント左側)、または“**F-All**”(フロント全体)から選択できます。

Scroll

(スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名、アルバム名またはアーティスト名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“**Auto**”に設定しておくときスクロール表示を繰り返し行い、“**Manual**”に設定しておくとき表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。

Security

(セキュリティ)

セキュリティコードを設定しておくとき、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

Seek Mode

(シークモード)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

SWPRE

(スイッチングプリアウト)

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェダー調整に影響されない出力(ノンフェダー出力“**N-Fad**”)に切り替えることができます。フェダー調整に影響されないのでサブウーファー用の出力に活用できます。

Volume Offset

(ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“**Volume Offset**”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとに音量差を設定しておくことができます。

WMA

(Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは“**Help? MP3/WMA**”(52ページ)をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C510、KDC-C506など)、MDチェンジャー(KMD-C30、RJ-480など)です。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Eject** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- Toc Error** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
- E-05** : ディスクが裏返しになっている。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
- No Track Disc** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- E-15** : ディスクに本機で再生できるデータが入っていない。
- NO NAME** : ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- NO TITLE** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- NO TEXT** : ●CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
●曲名、アルバム名またはアーティスト名がないMP3/WMAファイルを再生中に、それぞれの表示にしようとした。
- NO ACCESS** : CDをディスクチェンジャーに入れてから1回もプレイをしていない状態でSBFを行った。
- Unsupported File**
: サポートされていないMP3/WMAフォーマットのファイルをプレイしようとした。
- Protected File** : コピープロテクトされているWMAファイルをプレイしようとした。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold Error** : ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- INインジケーターが点滅**
: CDプレーヤーが正常に動作していない。
➡CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。
- Load** : ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。
- READING** : ディスクに収録されているデータのチェック中です。

取り付け時のご注意

警告



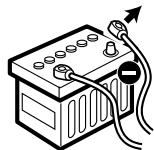
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



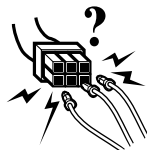
実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



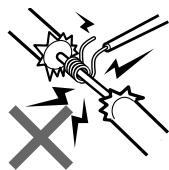
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



実施

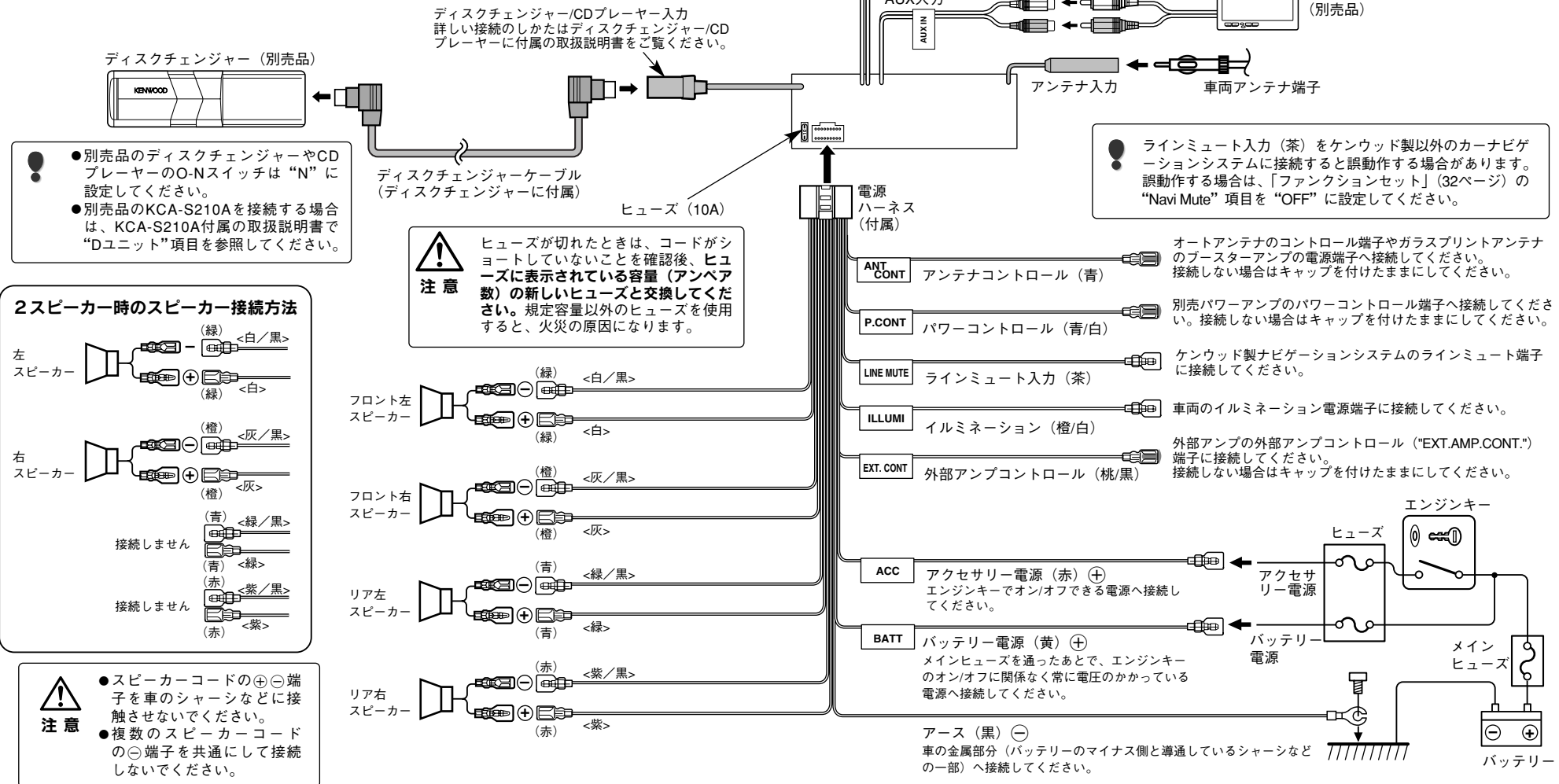
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。



取り付け

付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

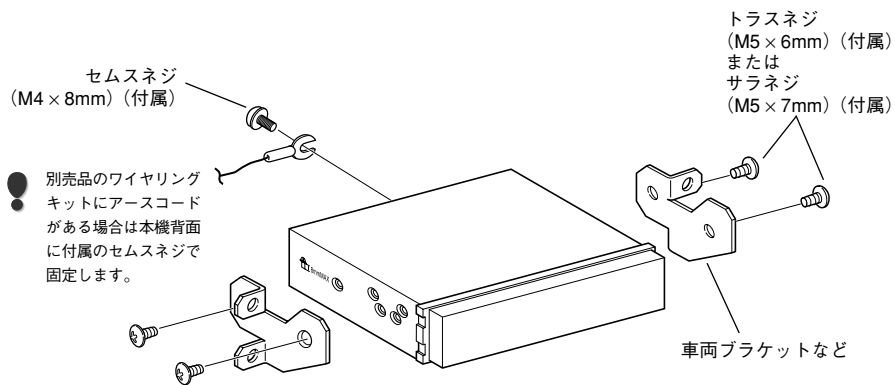
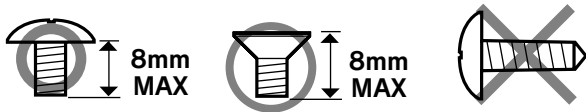


取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

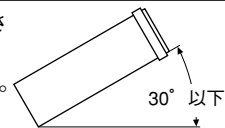
実施

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。

また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

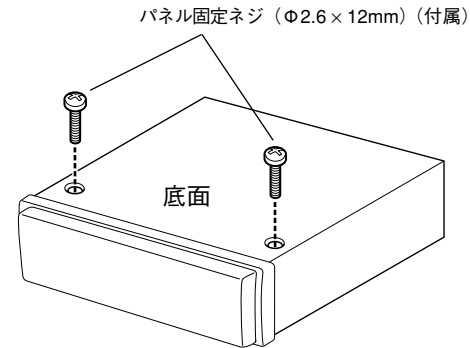


- 本機の取り付け角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

操作パネルの取り外しを行わない場合は、付属のパネル固定ねじ (Φ2.6 × 12mm) を以下のように取り付けることにより、操作パネルが取り外せないようにできます。



保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs($\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
f-CD77	回転数
	S/N比
	ダイナミックレンジ
	チャンネルセパレーション
f-CD55	MP3デコード
	WMAデコード
	回転数
	S/N比
	ダイナミックレンジ
	チャンネルセパレーション
	90 dB
	MPEG-1.0/2.0/2.5 Audio Layer-3準拠
	Windows Media™ Audio 準拠
	500~200 rpm (線速度一定)
	93 dB (1 kHz)
	93 dB
	85 dB

オーディオ部

最大出力	50 W \times 4
定格出力	30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD以下)
プリアウトレベル	1800 mV/10 k Ω (CDプレイ時)
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
トーン・コントロール (Bass)	100 Hz \pm 10 dB
(Mid)	1 kHz \pm 10dB
(Treble)	20 kHz \pm 10dB
AUX入力周波数特性	20 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
AUX入力最大電圧	1.2 V
AUX入力インピーダンス	\geq 44 k Ω

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	180 \times 50 \times 159 mm
質量 (重さ)	1.4 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
サラネジ (M5 \times 7mm)	4本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	4本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本
パネル固定ネジ (Φ 2.6 \times 12mm)	2本
リモコン	1個
電池 (CR2025)	1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。